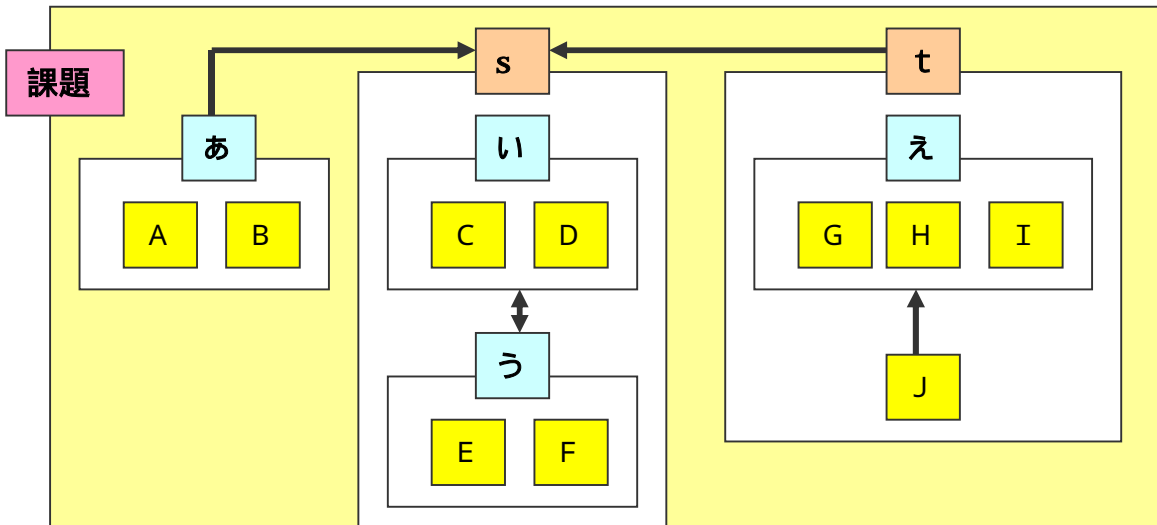


KJ法はマトリックスで表現できるかな

発想したり、筋道をたてて考えを整理していく場合、頭の使い方は、基本的につリーとマトリックスの2つがある。マインドマップ法やバルーン図法は、ツリーの代表である。SWOT分析やPPM法は、マトリックスの代表である。KJ法の図解作業は、結局マトリックスとして考えればよいと思う。次の通りである。

最初を書いた黄色いカード（A～J）をまとめ、グループ同士の関係を図化する。



- あ（アジアの好景気）
 - A：中国を中心にアジアで景気拡大
 - B：国内の建設需要減、アジア各地で建設需要増
- s（学生の特徴）
 - い（強み） C：学生はレベルの高いCAD教育を受けている
 - D：ワークショップ運営の訓練を受けている
 - う（弱み） E：交渉力に乏しい熊本の学生
 - F：現場管理、泥に汚れる職場につくことを厭う
- t（競争は厳しい）
 - え（企業） G：製図作業系職種の採用が少ない（外国に外注）
 - H：地元の建設会社の採用が極端に少ない
 - I：女子学生は増えたが、女性の採用は少ない
 - J（留学生）：アジアの優秀な学生が日本で多数学び残留する

最初にグルーピングされたもの同士の関係をマトリックスで表現する。

		課題				
		あ	s		t	
			い	う	え	J
課題	あ	-	次頁			
	s	い		-		
		う			-	
	t	え				-
J						-

さらに、より上位にグルーピングされたもの同士の関係をマトリックスで表現する。

		課 題		
		あ	s	t
課 題	あ	-		-
	s		-	
	t			-

KJ法の図解作業、つまり文章化は、上記 から出発する。

文章化 建築系学生の就職活動については、アジアの好景気と、(就職)競争の激化が、今の学生の特徴にどう影響するかを考えることが、大枠として重要である。

		建築系学生の就職活動について		
		あ	s	t
就 動 に つ い て	あ (アジアの好景気)	-	アジアの好景気は、今の学生の特徴に影響する。	-
	s (学生の特徴)	今の学生の特徴は、アジアの好景気の影響を受ける。	-	今の学生の特徴は、競争の激化の影響を受ける。
	t (競争は厳しい)		競争の激化は、今の学生の特徴に影響する。	-

次に、 のレベルに移り解説していく。

文章化 その学生の特徴とは、強みとしては、CAD技術、ワークショップ運営技術であり、弱みとしては、交渉力が乏しく、現場作業を厭うことである。

文章化 競争の激化については、国内企業の採用が厳しく、特に地元企業・設計要員・女性雇用の面で厳しく、さらにアジアからの優秀な留学生在が日本企業に多数採用されることで熊本の学生の就職口を奪っている。

文章化 アジアの好景気は特に中国を中心としたもので、国内での建設需要減に対し、アジアでは建設需要が増加。

上記の文章化作業で、 の図柄の解説はできたことになる。

しかし、ここで安心せず、 ~ の作業を2, 3パターンやってみることが重要である。あるいは、複数の班に分かれ、共通の黄色カード(A~J)を用いて同じ作業をし、結果を比較してもよい。その際、基本的に最上位とその次のレベル、2つのマトリックスについて、各班の作業結果を比較検討すればよからう。

さらに、 の で示したように、 の図では関係性が直接現れない(矢印が結ばれない)。「あ(アジアの好景気)」と「い(学生の特徴(強み))」の関係にも着目し、次のように文章化する。マトリックスを補間する(空欄に意味を見出す)センスが問われる。

文章化 アジアの好景気を受け、CAD教育、ワークショップ運営の訓練を受けた学生は、その得手を活かし、アジアに活路を求めることができる。

SWOT分析のようにあらかじめ表頭・表側の言葉が用意されているわけではないが、ネットワークを記述するように、段階的なマトリックスを作り分析していけば、漏れがない。